



スクールプライド

小天小学校
H29. 2

本校教育目標 確かな学力を身に付け、心身ともにたくましく自立した子どもの育成

㊦ 思いやりのある子ども ㊧ 明るくたくましい子ども ㊨ 学び考える子ども

㊦ 思いやりのある子ども

★ 昔遊び集会とふれあい給食 ～ お年寄りの方と親子のふれあい ～

児童の祖父母や学校評議員の方々の協力を得て、例年2月に行っていた「ふれあい昔遊び集会」本年度は10月13日（木）に実施しました。子どもたちは、おじいちゃんやおばあちゃん方と一緒に、竹とんぼ、空気鉄砲、水鉄砲、お手玉を作って遊びました。

子どもたちは、小刀やのこぎりを使って、竹を削ったり切ったりしました。慣れない手つきで悪戦苦闘していると、「鋸はこうやって引くんだよ。」「小刀はこんな風にして持つんだよ。」など、おじいちゃん、おばあちゃん方が、優しく教えて



くださいました。遊び道具ができあがったら、みんなでワイワイガヤガヤと楽しそうに遊びました。世界に一つだけの手作りの遊び道具に大満足の様です。子どもたちは、作りながら、遊びながら、昔の人の知恵、創意工夫の素晴らしさを感じ取ったものと思います。

本年度は「ふれあい給食」を同じ日に実施しました。おじいちゃん、おばあちゃんや親と教室と一緒に給食を食べ、ふれあいを深めました。一緒に作って、遊んで、食べてと、たくさん交流することができ、心温まる1日となりました。

㊧ 明るくたくましい子ども

★ 校内縄跳び大会 ～ 体力向上、挑戦する心の育成 ～

2月7日（火）、校内縄跳び大会を実施しました。子どもたちは、この日まで、体育の時間や朝の縄跳びタイム、休み時間など、練習に励んできました。

大会当日にはほとんどの児童が参加することができました。「ピー！スタート！」ビュンビュン、ビュンビュン。縄で風切る音が響き渡ります。子どもたちは、3分間に何回跳べるか、持久跳びに挑戦しました。各自が立てた目標回数目指して、リズムよく、できるだけ速く手首を回転させ、ひたすら跳び続けました。時間が経つにつれ、呼吸が荒くなり、筋肉の疲れが増してきます。しかし、ここであきらめては記録更新は望めません。顔をしかめながら、歯を喰いしばって跳び続けました。「がんばれ！」応援の声が力となります。（だけど、もう限界・・・）というところで、「ピー！やめ！」の合図。「やったー！新記録達成！」練習の成果を出し切った子どもたちが大勢いて、満足感や達成感をたっぷり味わうことができました。この他にも、子どもたちは学年ごとに、あやとびや交差とび、二重とびなど種目跳びにも挑みました。

子どもたちは、なわとび大会を通して、体力や敏捷性等を向上させるとともに、目標へ向けて挑戦する心を育みました。



★ 公開授業研究会 ～ 授業改善・学力向上 ～

本校では継続して、国語科を中心に、言語活動を効果的に位置づけた授業づくりを通して、言葉を適切に使い、思いや考えを伝え合い、学び合うおあまっ子の育成を目指し、研究に取り組んでいます。1月27日（金）その成果を発表する場として、公開授業研究会を開催しました。

本年度は、身に付けさせたい力を明確にし、共感的な評価活動等の充実に焦点を当て、実践を通して追究してきました。その集大成として、2本の国語の授業（3年生「モチモチの木」、5年生「想像力のスイッチを入れよう」）を公開しました。また、研究協議は、ワークショップ形式で行い、できる限りたくさんの意見を出してもらうようにしました。

講師の指導・助言も的確で、授業研究会も有意義な中身の濃い会となりました。

【参加者の感想より抜粋】

- ・教師側の目標と児童のゴールが共に達成できるように授業が組み立てられていた。
- ・子どもたちの姿勢、生き活きとした表情、先生との関係に感動しました。
- ・しっかり練られ、準備を重ねられた授業だった。先生の誠実さ、子どもたちの意欲の高さ、繋がりを感しました。
- ・どの学年でもばっちり指導されていて、素晴らしいと思いました。日々の積み重ねだと思います。
- ・子どもたちがよく育っていると思いました。
- ・授業の流れ、発問、交流の仕方などが大変参考になった。
- ・一人一人の考えを生かす丁寧な指導が参考になった。助言者の先生の話もとてもよかった。
- ・とても落ち着いた雰囲気での学習しており、規律を守って学習できているのかなと思った。
- ・研究が全校にしっかり広がり、定着していると感じました。
- ・公開授業を職員一丸となつてするところが素晴らしい。なかなかできません。
- ・全先生方の協力体制が見えました。



参加者の方には満足していただいたようです。私たちも、公開授業研究会を開催して、あらためて自分たちの研究が進化（深化）している手ごたえをつかみました。教師の成長、子どもたちの成長を実感し、多くの参加者から良い評価を得ることができたからです。もちろん、成長の個人差、学級差があることは否めません。しかし、総体的に見れば、間違いなく向上していると思います。この研究は、これまでの積み重ねがあってこそです。「継続は力なり」。一朝一夕では得られぬ貴重な小天小の財産であり、価値があると自負しております。しかしながら、まだまだ課題もあります。今後も更なる進化（深化）を目指し、職員一同、研究に邁進していきます。

